

体調がすぐれない時

安全に健診をすすめるために、ご協力ご理解をお願い致します。

発熱 (37.5℃以上)	のどが痛い、鼻水、咳、痰が出るという症状があれば、インフルエンザ、コロナ検査を推奨。 コロナ、インフルエンザでなくても、症状がおさまるまで延期
咳、喘息発作等	状態によっては、当日胃検査ができない可能性があります。 胃検査日延期、状態によってはキャンセルになる可能性もございますので、ご了承下さい。
コロナ	・健診を受ける場合は、感染から2週間経ち、かつ咳・痰の症状がなくなるまで、 健診はお控えください。 ・胃透視検査は、上記の期間が過ぎても、咳、痰が残る場合は、胃透視検査は受けられません。 症状が良くなるまで、胃透視検査は延期、あるいは胃検査なしとさせていただきます。 ・内視鏡検査は、感染から6週間以内の検査をお受けしていませんので、 6週間以降に健診を変更してください。内視鏡だけの変更はお受けできません。 コロナウイルス感染の診断を受けていなくても、下記の場合はコロナウイルス感染が否定できません。 ・持続する感冒症状や発熱、息苦しさ、強いだるさのいずれかがある ・明らかな誘因のない味覚・嗅覚異常がある ・明らかな誘因なく、4～5日続く下痢等の消化器症状がある
インフルエンザ	発症から5日経ち、かつ解熱後48時間過ぎていること
ノロウイルス	下痢・嘔吐がおさまってから48時間過ぎていること
ワクチン後の発熱	解熱1週間過ぎていること
伝染性結膜炎	主治医の許可が出ていること
帯状疱疹	湿疹がかさぶたになっていること